

## 学界の動向

# 第 88 回北海道医学大会 腫瘍系分科会 (第 95 回北海道癌談話会例会) を終えて

谷 口 隆 信\*

北海道癌談話会は昭和 49 年に設立され、癌の研究や診療・治療に携わる会員の交流を通して、北海道における癌の研究や臨床の発展を目指してきました。北海道の医系 3 大学が持ち回りで担当して参りましたが、今回旭川医科大学生化学講座が主幹となり、2008 年 9 月 6 日(土)に、第 88 回北海道医学大会 腫瘍系分科会(第 95 回北海道癌談話会例会)を旭川医科大学看護学科大講義室にて開催致しました。

演題は、特別講演 1 題と一般演題 25 題の計 26 題で、特別講演は旭川医科大学内科学講座(消化器・血液腫瘍制御内科学分野)の高後教授による「消化器癌のリスクファクターとその対策」を御願ひ致しました。胃癌や大腸癌をはじめとする消化器癌は肺癌と並ぶ主要な癌であり、その予防について、最新の分子レベルの知見に基づき、紹介して頂きました。

また、全体を次のように 7 つのセッションに分け(プログラム進行順)、それぞれの座長を旭川医科大学の若手の先生方に御願ひ致しました。

1. 腫瘍免疫  
竹内 助教(生化学講座 細胞制御科学分野)
2. 血管内皮前駆細胞  
水上 先生(内科学講座 消化器・血液腫瘍制御内科学分野)
3. 化学療法  
鳥本 先生(腫瘍センター)
4. 腫瘍化機序 1  
河野 先生(外科学講座 消化器病態外科学分野)
5. 腫瘍幹細胞  
片山 先生(耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座)
6. 腫瘍化機序 2  
柳沼 先生(病理学講座 腫瘍病理分野)
7. 腫瘍化機序 3  
大崎 先生(呼吸器センター)

興味深い演題に対して活発な討論が行われ、盛会となりましたこと、あらためて、演者や座長の先生方に御礼申し上げますとともに、裏方となって準備・運営を支えてくれました教室員に深く感謝致します。

---

\*旭川医科大学 生化学講座 細胞制御科学分野